

陳 情 文 書 表

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第19号（5. 10. 5） 西区の中学校給食の改善を求める陳情
陳情の要旨	西区で自校調理方式や親子調理方式の可能な学校の調査を行い、できるところから実施すること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市西区 神戸の中学校給食を実現する西区の会 萬年 ルミ
送付委員会	教育こども委員会

神戸市議会議員 坊やすなが 様

2023年10月5日

神戸市西区

神戸の中学校給食を実現する西区の会

萬年 ルミ
(Te)

西区の中学校給食の改善を求める陳情

<陳情趣旨>

神戸市の中学校給食が開始して以降、様々な問題もありましたが、2023年8月に「中学校給食の全員喫食制への移行に向けた基本方針」に基づき、温かい給食による全員喫食の実現に向け、全市の給食提供体制およびスケジュールが発表されました。学校給食センター方式、民間調理施設方式を中心に、中央区1校、須磨区3校で親子調理方式が実施されるという内容です。現在の「デリバリー方式」はおかずに冷たいために喫食率が伸び悩んだことから、温かい給食への期待は大きいと思います。私たちは、給食の方式を「自校調理方式」や「親子調理方式」でと要望し続けてきました。今回、4校で「親子調理方式」が実施されることは本当にうれしいことです。しかし、垂水区、西区の給食センターで何千食もの給食を調理し、配送することについては様々なことが心配されます。大量調理の安全性や配送時のトラブルによる配達遅れ、また大量調理の給食がたとえ温かくとも、子どもたちが「おいしい」と味わえる内容になるのかという懸念もあります。西区では、民間調理方式で2025年4月から提供開始ですが、学校給食センターが西区にできるのにそこからは配達されないということに疑問を感じます。神戸市が「自校調理方式」や「親子調理方式」の実施が可能かどうかの調査結果において西区では樫谷中学校が敷地内で対応可能であるが課題あり、という結果が出ています。車両動線に課題があるそうですが、可能ならばぜひ実現する方向で検討をしてほしいです。また、「親子調理方式」の場合は、小学校の調理室に余力があることが前提ですが、西区では樫野台、井吹西、美賀多台小学校が400食～500食以上の余力があるという結果です。全体に少子化で児童数が減少している学校もあり、この3校以外にも小学校の余力で中学校の給食をまかなえる学校はあります。同じ西区内であれば、配送にも時間はかかりません。西区においてもぜひ、「自校調理方式」や「親子調理方式」が可能な学校に対する調査を行い、できることから実施していただくよう要望します。

事項

<陳情項目>

西区でも「自校調理方式」や「親子調理方式」の可能な学校への調査を行い、できることから実施してください。